

# 資料編

## アンケート調査ご協力をお願い

各 位

内閣府 男女共同参画局

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、男女共同参画政策の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

政府においては、女性の多様な能力を活かせるようさまざまな分野への女性のチャレンジを支援しており、子育て等でいったん就業を中断した女性の再チャレンジなどの総合的な支援に取り組んでおります。

また、男女共同参画会議基本問題専門調査会でとりまとめられた『地域における男女共同参画の今後のあり方』にあるとおり、NPOは地域における男女共同参画の推進にとってますます重要な役割を果たすことが期待されています。このなかで、女性の再チャレンジのひとつとして、NPOで働くこと、あるいはNPOを自ら立ち上げる事例も見られます。

こうした現状をふまえ、このたび内閣府男女共同参画局では、NPOにおける女性の再チャレンジの実態、ならびに再チャレンジ支援を含めた男女共同参画センター等とNPOとの連携・協働の実態などを把握するため、NPOならびにNPOで活動する女性を対象としたアンケート調査を実施することと致しました。

お手数をおかけしますが、ウラ面の「調査実施要領」をご一読いただき、同封のアンケート調査にご協力くださいますようお願い致します。

敬具

### 《調査に関する問い合わせ先》

(調査実施主体)

内閣府 男女共同参画局推進課 担当：藤巻、大西

電 話：03-3581-2327 F A X：03-3592-0408

(調査委託先)

財団法人 日本システム開発研究所 担当：岩崎・中山

電 話：03-5379-5932 F A X：03-5379-5929

電話は土・日・祝日を除く 10:00～17:00

ウラ面にアンケート記入に関する注意事項があります。必ずお読みください

## 調査実施要領（アンケートのご記入にあたって）

### 女性の“再チャレンジ”とは...

結婚、出産・育児、介護等の理由でいったん仕事を離れた女性が、ふたたび再就職や起業、NPOなど地域活動への参加など、社会参画をすることを“再チャレンジ”といます。このアンケート調査は、NPOでの女性の再チャレンジの現状・実態を把握して今後の政策検討に活かすための資料となるもので、全国のNPO法人とそこで活動する女性を対象に実施しています。

### 2種類のアンケート用紙が入っています。それぞれ回答いただく方が異なります。

#### 「女性の再チャレンジに関するNPO実態アンケート」

貴法人の設立・運営、スタッフの雇用や研修に関する質問が中心です。

原則として、**貴法人の代表者、または設立・運営の責任者**に当たる方がご記入ください。

#### 「NPOで活動する女性へのアンケート」

お手数ですが、**貴法人で活動する女性**（常勤・非常勤、報酬の有無等は問いません）にご記入を依頼し、記入済みのアンケート票を集めてください（と一緒に同封の返信用封筒に入れて投函してください）。ご多忙のところ大変恐縮でございますが、ご協力のほどお願い致します。

### 個人情報保護法令を遵守し、データは統計的に処理します

今回ご記入いただいた情報は、本アンケート調査以外の目的で利用することは一切ありません。

アンケート票の回答は統計的に処理しますので、個人、個別団体の情報が漏れることは一切ありません。（NPO各位には、アンケート回答をもとにヒアリングをさせていただく場合がございます。この場合あらためて調査委託先からお願いのご連絡をしますので、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。）

### 記入にあたってご注意いただきたいこと...

- ・アンケート票は、実態や考えに最も近い選択肢を選んでマルをつける質問と、具体的なご意見や数字などをご記入いただく質問があります。自由記入欄はなるべく具体的にご記入ください。
- ・答えにくい質問、当てはまらない質問は、回答しなくてもけっこうです。答えられる範囲でご記入ください。

### 記入済みの2つのアンケート用紙は、一緒に返信用封筒に入れて投函してください！！

ご記入済みのアンケート票は、

（NPO各位向けアンケート）

（NPOで活動する女性向けアンケート）

**を一緒にして同封の返信用封筒に入れ、12/5（金）までに投函してください**（切手を貼る必要はありません）。

このアンケート調査に関するお問い合わせ等がありましたら、お手数ですが、オモテ面の連絡先までご連絡をいただけますようお願い申し上げます。

## 女性の再チャレンジに関するNPO実態アンケート調査

平成20年11月

貴法人名、所在地、ご連絡先等をご記入ください。

<b>法人名</b>			
<b>所在地</b>	〒 都道府県		
<b>ご記入者 (代表者)</b>	お名前：	役職：	性別： 男 / 女
<b>ご連絡先</b>	電話：	FAX：	メール：

問1 貴法人の事業や組織構成についてうかがいます。

(1) 貴法人の特定非営利活動について、定款で定める活動のすべてに を、このうち主要な活動に1つだけ をつけてください。

1. 保健・医療・福祉	2. 社会教育	3. まちづくり
4. 学術・文化・芸術・スポーツ	5. 環境保全	6. 災害救助
7. 地域安全	8. 人権・平和	9. 国際協力
10. 男女共同参画社会	11. 子どもの健全育成	12. 情報化社会
13. 科学技術	14. 経済活動	15. 職業能力開発・雇用機会拡充
16. 消費者保護	17. NPO支援	

(2) 貴法人の役員、事業運営に関わるスタッフの人数を、それぞれ具体的にご記入ください。また、そのうち女性の人数をカッコ内にご記入ください。

	役員(理事・監事)	常勤スタッフ	非常勤スタッフ	ボランティアスタッフ	会員
報酬・給与あり	人[ 人]	人[ 人]	人[ 人]	人[ 人]	/
報酬・給与なし	人[ 人]	人[ 人]	人[ 人]	人[ 人]	
合計	人[ 人]	人[ 人]	人[ 人]	人[ 人]	

ここでは、「常勤スタッフ」は日常的に事業運営に関わり、週に3日以上または30時間程度以上の就労がある人、「非常勤スタッフ」とはそれ以下の就労または不定期に就労する人をいいます。役員がスタッフを兼ねる場合は、スタッフに記載してください。

(3) 貴法人の前年度の単年度事業収支について、具体的にご記入ください。

<b>総収入金額</b>	万円		
会員からの会費	万円	助成金・補助金	万円
寄付金	万円	事業収入	万円
<b>総支出金額</b>	万円		

(4) 貴法人の設立時期について、具体的にご記入ください。


団体の設立年次	西暦 [ 年 ]	NPO認証・法人化年次	西暦 [ 年 ]
---------	----------	-------------	----------

以下、(5)～(8)はNPO代表者または実質的な運営責任者の方個人にうかがいます

(5) NPOを立ち上げたきっかけ、理由として重要な順に3つまで選んで番号をご記入ください。

1. 生活や地域など、身近な問題を解決したい	2. 自分の能力や経験、知識を活かしたい	1番
3. 地域との関係を深めたい	4. 趣味や生きがいを活かしたい	
5. 再チャレンジ関係の講座等に参加して触発・支援を受けた	6. 自分が望む働き方をしたい	
7. 自分の適性に合っている	8. 報酬・給与条件が合う	2番
9. 雇用形態、身分保障条件が合う	10. 活動・就労の拘束時間が合う	
11. 家庭や仕事などと両立できる	12. 他に働く場所がなかった	3番
13. その他(具体的に: )	14. 立ち上げしていない	

(6) あなたが現在のNPOで活躍されるにあたって役立っている(役立った)経験・能力、資格について該当するものすべてに をつけ、その内容について具体的にご記入ください。

1. 職業経験 2. 資格 3. 地域活動やボランティア経験 (自治会、PTA、サークル活動等を含む) 4. その他の能力 (自分の趣味が役に立った、性格が役に立ったなど) 5. とくにない		《具体的な内容》
---	---	----------

(7) 現在のNPOに参加する以前の職業・社会活動経験等の有無について、該当するものすべてに をつけてください。

1. 正社員としての職業経験あり	2. 正社員ではないが、職業経験あり
3. 地域組織(PTA、自治会など)の役員経験あり	4. 地域活動の経験あり
5. ボランティア活動の経験あり	6. その他(具体的に: )
7. 職業・社会活動経験はない	

(8) 現在のNPOでの活動・就労時間、報酬・給与などについて、ご記入または該当するものに をつけてください。

<b>1週間の活動・就労</b>	平均 [ ] 時間		
<b>1ヶ月の報酬・給与</b> (平均)	1. 0～5万円未満	2. 5～10万円未満	3. 10～20万円未満
	4. 20～30万円未満	5. 30～50万円未満	6. 50万円以上
<b>主たる生活費の負担者</b>	1. 本人	2. 配偶者	3. その他

問2 NPO代表者または実質的な運営責任者の方個人にうかがいます。

(1) NPO立ち上げ、および運営にあたって、“うまくいっている”“苦勞している”と思うことを、それぞれいくつでも選んで をつけてください。

	【1】NPO立ち上げ時		【2】NPO運営	
	うまくいった・どちらかといえばうまくいった	苦勞した・どちらかといえば苦勞した	うまくいっている・どちらかといえばうまくいっている	苦勞している・どちらかといえば苦勞している
事業シーズの発掘、市場開拓				
資金調達				
組織づくり、運営マネジメント				
能力や経験をもった人材の発掘・確保				
人材の育成				
法務や会計など専門的な手続き				
地域内での理解、賛同、支援				
社会的な認知				
情報発信				
情報収集				
地域内外とのネットワークづくり				
家族の理解、賛同、支援				
家庭生活との両立				
主たる収入を得るための仕事との両立				

(2)NPO の設立・運営に関してどのように評価していますか。 ~ について、それぞれ1つ選んで をつけてください。

【1】設立についての評価	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	該当しない
地域の課題解決					
やりがい					
自分の能力や適性に合っている					
自分の能力、知識等が活かせる					
スキルアップ、キャリアアップできる					
NPOの活動の内容					
NPOでの立場や役割					
家庭や仕事などとの両立					
報酬・給与の水準					
雇用形態、身分保障					
活動・就労の拘束時間、休日					

【2】運営についての評価	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	該当しない
地域の課題解決					
やりがい					
自分の能力や適性に合っている					
自分の能力、知識等が活かせる					
スキルアップ、キャリアアップできる					
NPOの活動の内容					
NPOでの立場や役割					
家庭や仕事などとの両立					
報酬・給与の水準					
雇用形態、身分保障					
活動・就労の拘束時間、休日					

(3)NPO の設立・運営にあたって、どこから支援・協力が得られましたか。以下の ~ について、それぞれ支援・協力が得られたところはいくつでも をつけてください。

【1】設立時の支援・協力	行政・自治体	助成財団	NPO支援機関	企業	男女共同参画センター	地域のつながり	家族・親族	友人・知人
事業シーズの発掘、市場開拓								
資金調達								
組織づくり、運営マネジメント								
能力や経験をもった人材の発掘・確保								
人材の育成								
法務や会計など専門的な手続き								
地域内での理解、賛同、支援								
社会的な認知								
情報発信								
情報収集								
地域内外とのネットワークづくり								
家族の理解、賛同、支援								
家庭生活との両立								
主たる収入を得るための仕事との両立								

【2】運営に関する支援・協力	行政・自治体	助成財団	NPO支援機関	企業	男女共同参画センター	地域のつながり	家族・親族	友人・知人
事業シーズの発掘、市場開拓								
資金調達								
組織づくり、運営マネジメント								
能力や経験をもった人材の発掘・確保								
人材の育成								
法務や会計など専門的な手続き								
地域内での理解、賛同、支援								
社会的な認知								
情報発信								
情報収集								
地域内外とのネットワークづくり								
家族の理解、賛同、支援								
家庭生活との両立								
主たる収入を得るための仕事との両立								

問3 貴法人におけるスタッフの人材確保、人材育成の現状についてうかがいます。

(1)貴法人では、中心となるスタッフの人材確保をどのような方法で行っていますか。主なものに3つまで、実際の雇用に結びついている主な方法に1つだけをつけてください。

1. ハローワークでの求人	2. 一般の新聞広告や求人誌
3. 自法人の情報媒体（ホームページなど）	4. 自法人の講座等の修了者
5. 自治体等のボランティア情報	6. 中間支援組織での募集・紹介
7. 男女共同参画センターでの募集・紹介	8. スタッフ、会員を通じた募集・紹介
9. 地域内のつながりでの募集・紹介	10. 大学（ボランティアセンター等）の募集・紹介
11. インターネットのボランティアサイトへの登録	12. ボランティアスタッフ等の登用
13. その他（具体的に： _____）	

(2)スタッフの雇用に際して求める資質や条件等があれば、3つまで選んでつけてください。

1. 貴法人の理念や活動に対する熱意、理解	2. NPOに関する知識、理解
3. NPOでの活動・就労経験	4. 活動分野に対する専門知識、理解
5. 一般企業等での実務経験	6. パソコンや経理などの専門技術
7. 活動分野に関わる各種資格の保有	8. 地域活動やボランティア活動の経験（自治会、PTA活動を含む）
9. 活動に対する熱意、態度	10. 人柄、性格
11. 年齢	12. 学歴
13. 家庭等と両立できるか	14. その他（具体的に： _____）

(3)貴法人では、スタッフのスキルアップ、資格修得などのための支援を行っていますか。当てはまるものを1つ選んでつけてください。

1. 自法人で研修会を実施	2. 参加機会の提供	3. 研修等のための時間の融通
4. 研修費用等の補助	5. 情報・資料等の提供	6. とくに行っていない

(4)スタッフの研修機会として、貴法人が利用している、または利用したことがある事業等があれば2つまで選んでつけてください。

1. 地方自治体（都道府県、市町村）の事業	2. 男女共同参画センター等の事業
3. 国または全国規模の公益機関の事業	4. 民間企業の事業
5. 事業他のNPOの事業	6. 事業中間支援組織の事業
7. 自法人内で独自に実施	8. 他団体・機関と自法人で共催する事業
9. その他（具体的に： _____）	

問4 結婚、出産・育児、介護などで一度離職した女性とNPOとの関わりについてうかがいます。  
 (子育て等でいったん就業を中断した女性の再チャレンジのひとつとして、NPOで活動すること、NPOを立ち上げる事例が見られます。)

(1)貴法人には、現在こうした“再チャレンジ”として就労・活動する女性スタッフがいますか。

1. いる	[	人]	2. 今はいないが、過去にいた
3. いない			

(2)NPOでの女性の再チャレンジに対する貴法人の考えを教えてください。

1. NPO活動には女性の経験や能力を活かせる機会が多いので、再チャレンジの場として積極的に女性を登用・支援したい
2. できる範囲で、女性の再チャレンジを支援したい
3. 再チャレンジの意義は認めるが、他の人より優先してとくに積極的な登用や支援をするは考えない
4. 女性の再チャレンジには関心がない

(3)再チャレンジした女性スタッフが就労・活動を継続しやすくするために、貴法人で支援、配慮していることはありますか。以下の～の取り組み状況についてそれぞれ1つ選んでをつけてください。

	非常に配慮している	まあ配慮している	あまり配慮していない	全く配慮していない	該当しない
雇用形態の安定化					
家庭等との両立に配慮した就労形態、休暇制度の多様化					
家庭等との両立に配慮した就業時間の多様化・弾力化					
報酬・給与水準の確保					
活躍に応じた給与等の引き上げ					
活躍に応じた評価					
活動に関する権限、裁量					
スキルアップ等のための研修機会					
自法人内、他団体等との交流					

(4)貴法人の活動の中で、男女スタッフ間に実質的な差や違いはありますか。以下の～の状況について、それぞれ1つ選んでをつけてください。厳密でなくても、だいたいの平均的な傾向でけっこうです。

	女性が多い	やや女性が多い	差はない	やや男性が多い	男性が多い
法人内での役職者数	1	2	3	4	5
意思決定などの権限	1	2	3	4	5
活動・職務の内容、範囲	1	2	3	4	5
報酬・給与	1	2	3	4	5
活動・就労時間	1	2	3	4	5
研修機会	1	2	3	4	5
発言や活動の機会	1	2	3	4	5
活動・雇用期間	1	2	3	4	5

(5)学生や若者、再チャレンジしたい女性の訓練やスキルアップ等の機会として、NPOの活動に参加し一定期間の就労体験を行う「インターンシップ」があります。こうしたインターンシップの受入れに対する貴法人の意向について1つ選んでをつけてください。

1. 積極的に受入に協力したい	2. 報酬等の負担を除けば、受入協力できる
3. 日常業務に支障が出るので、受入は難しい	4. 日常的な活動・業務がなく、受け入れる場がない
5. その他(具体的に: _____)	

(6)インターンシップ受入れにあたっての問題点・課題があれば、具体的にご記入ください。

--



**問5 男女共同参画センター（女性センター等）との連携協働の取り組みについてうかがいます。**

(1) 貴法人では、これまでに男女共同参画センター等の事業・施策の利用、または事業の企画運営でセンターと連携・協働した実績はありますか。～ から選んでいくつでも をつけ、とくに女性の再チャレンジに関わる取り組みは をつけてください。【 連携協働の実績がない場合は、(4)へ】

	施策事業の利用	事業の連携協働
社会参画等に関する意識啓発の講座		
再就職や社会参画などのキャリアカウンセリング		
能力開発、スキルアップなど人材育成の講座		
人材の募集・紹介（マッチング）		
起業支援		
情報提供		
他団体や仲間との交流、ネットワークづくり		
NPOに関する運営支援		
起業や事業運営のための融資や助成事業		
上記の、以外の講座		
イベントの実施		
その他（具体的に： _____）		

(2) (1)で選んだ事業の利用に対する評価について、それぞれ1つ選んで をつけてください。

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	該当しない
社会参画等に関する意識啓発の講座					
再就職や社会参画などのキャリアカウンセリング					
能力開発、スキルアップなど人材育成の講座					
就職先等の募集・紹介（マッチング）					
起業支援					
情報提供					
他団体や仲間との交流、ネットワークづくり					
NPOに関する運営支援					
起業や事業運営のための融資や助成事業					
上記の、以外の講座					
イベントの実施					

(3) 男女共同参画センター等との連携協働に期待すること、実際に得られた成果について、それぞれ2つまで選んで下欄に番号をご記入ください。

1. 「男女共同参画」に対する理解	2. 「女性の再チャレンジ」に対する理解
3. 地域コミュニティ活動への女性の参画、活躍	4. 地域の女性人材の育成、スキルアップ機会の充実
5. 地域内の連携、ネットワークの拡がり	6. 新たな連携協働の機会
7. 地域づくりに関わる予算の確保・充実	8. 経験や能力のある人材の紹介やマッチング
9. 地域づくりや人材育成に関わる人員の確保・充実	10. 専門的なノウハウの確保・充実
11. その他（具体的に： _____）	12. とくにない

連携協働に期待すること	実際に得られた成果

(4)貴法人では、男女共同参画センター等との交流やネットワークがありますか。～の取り組み状況についてそれぞれ1つ選んでつけてください。

	よくある	たまにある	ない
広報誌やインターネットなどの情報の利用			
相談窓口等の利用			
職員との日常的な交流			
情報交換等の会合の参加			
情報交換等の会合メンバー			
共同での事業実施(名目でなく実質的に協働したもの)			
施設、設備の利用			
その他(具体的に: )			

(5)貴法人では、今後どのようなテーマ、事業であったら男女共同参画センター等と連携協働したいですか。以下の～から利用したいテーマ、事業内容を選んでいくつでもつけてください。

テーマ	内容	講座、セミナー	相談アドバイス	企画公募	情報提供	助成事業	交流、マッチング
女性の再チャレンジ(就労・起業を含む)							
男女共同参画							
地域づくり、地域活性化							
NPO事業運営に関する専門知識							
ボランティア							
自法人の活動に関連するテーマ							

以下の(6)～(8)及び問6は、女性が設立・運営するNPOのみ、ご回答ください

NPO代表者または実質的な運営責任者の女性にうかがいます

(6)NPOを設立・運営する上で、女性であることが優位、または不利と感ずることがありますか。

以下の～について、それぞれ1つ選んでつけてください。

	【1】NPOの設立				【2】NPOの運営			
	優位と 思う	やや 優位	不利と 思う	どちらで もない	優位と 思う	やや 優位	不利と 思う	どちらで もない
事業シーズの発掘、市場開拓								
資金調達								
組織づくり、運営マネジメント								
能力や経験をもった人材の発掘・確保								
人材の育成								
法務や会計など専門的な手続き								
地域内での理解、賛同、支援								
社会的な認知								
情報発信								
情報収集								
地域内外とのネットワークづくり								
家族の理解、賛同、支援								
家庭生活との両立								
主たる収入を得るための仕事との両立								

(7)あなたは、NPOやコミュニティビジネス等を設立・運営する地域内外の女性リーダーとのつながり、ネットワークがありますか。また、こうした女性のネットワークの会合に参加していますか。いくつでも選んで をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 他の女性リーダーと個人的なつながり、ネットワークがある                  |
| 2. 女性リーダーが集まるネットワークの会合に参加している                   |
| 3. 地域のNPO主宰者などが集まるネットワークの会合に参加しており、そこに女性リーダーもいる |
| 4. 個人的なつながりもネットワークの会合への参加もない                    |

(8)(7)で回答した「つながり、ネットワークがある」「ネットワークの会合に参加している」について、どのようなメリットが得られていますか。3つまで選んで をつけてください。

- |                      |                     |                   |
|----------------------|---------------------|-------------------|
| 1. 資金調達              | 2. 人材の確保            | 3. 人材の育成          |
| 4. 組織の運営、マネジメント      | 5. 事業運営に関する専門的なノウハウ | 7. 情報発信           |
| 8. 情報収集              | 9. 事業の協働            | 10. 地域内での理解、賛同、支援 |
| 11. 地域内外とのネットワークづくり  | 12. 精神的な支え、悩み相談     |                   |
| 13. その他(具体的に: _____) |                     | 14. とくにない         |

**問6 今後の予定について、うかがいます。**

(1)あなたは、今後のNPO活動や就労など、社会参加をどのように考えていますか。1つ選んで をつけてください。

- |  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 現在のNPOで活動・仕事をそのまま続ける                  | 2. 現在のNPOの活動を拡大する   |
| 3. 希望や条件があう仕事があれば、現在のNPOをやめて転職する         |                     |
| 4. 現在のNPO活動は続けるが、働き方(時間、雇用形態など)や関わり方を変える |                     |
| 5. 現在のNPOをやめて、新しいNPOや団体をつくる              | 6. その他(具体的に: _____) |
| 7. わからない                                 |                     |

(1)で3, 4, 5を選んだ方だけお答えください

(2)転職や働き方を変えたい理由は何ですか? 主なものを2つまで選んで をつけてください。

- |                             |                                 |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. もっとやりがいを感じる仕事をしたい        | 2. 専門知識や技術を活かせる仕事をしたい           |
| 3. 地域や社会の役に立つなど、意義のある仕事をしたい | 4. もっと自分の意見や考えと一致するところで働きたい     |
| 5. もっと自分の能力を評価してくれるところで働きたい | 6. NPOで活動・仕事して自信がついたので、本格的に働きたい |
| 7. 報酬・給与の条件がよりよい仕事につきたい     | 8. 就労時間、拘束時間が少ない仕事につきたい         |
| 9. もっと身分が安定している仕事につきたい      | 10. 家庭生活と両立できる仕事につきたい           |
| 11. 今の活動・仕事、職場が合わないと感じる     | 12. その他(具体的に: _____)            |

(3)今後、就労やNPOでの活動のためにどんな支援やサービスが必要ですか。主なものを3つまで選んで をつけてください。

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 再就職や活動のための講座やセミナー                      | 2. キャリアカウンセリングなど再就職等の相談 |
| 3. 技術習得などスキルアップの講座や訓練                     | 4. 子育てとの両立支援に関する相談      |
| 5. 再就職先を探すための情報、相談                        | 6. NPO団体や活動を探すための情報、相談  |
| 7. NPOや会社をおこすための情報、相談                     | 8. 仲間や団体とのネットワークづくり     |
| 9. NPO活動や事業運営に対する支援                       | 10. 起業や事業運営のための融資や助成金   |
| 11. 求職者の経験・能力・資格と再就職先が求める人材とのマッチングを行うサービス |                         |
| 12. その他(具体的に: _____)                      | 13. とくにない               |

すべてのNPOの方におうかがいします

**問7 調査の一環として、このアンケート結果をふまえたヒアリング調査をさせていただく場合があります。ご協力の可否を教えてください(調査員が貴法人を訪問、1時間程度のインタビューをします)**

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. ヒアリングに協力できる | 2. ヒアリングに協力できない |
|----------------|-----------------|

ご協力ありがとうございました

## NPOで活動する女性へのアンケート調査

平成20年11月

### ご記入にあたって最初にお読みください

近年、NPOをはじめとする地域コミュニティでの女性の活動が活発になっています。このアンケート調査は、NPO活動等での女性の活動実態を把握するため、全国のNPOで活動する女性を対象に実施するものです。お手数をおかけしますが、アンケート調査にご協力くださいますようお願い致します。

#### 女性の“再チャレンジ”とは...

結婚、出産・育児、介護等の理由でいったん仕事を離れた女性が、再び、再就職や起業、NPO活動などの社会参加に取り組むことを“再チャレンジ”といいます。

#### NPOで活動している女性がお答えください

NPOでの活動に関する質問が中心です。活動に参加している時間・期間の長さや報酬の有無に関わらず、お答えください。

#### 個人情報保護法令を遵守し、データは統計的に処理します

今回ご記入いただいた情報は、本アンケート調査以外の目的で利用することは一切ありません。また、アンケート票の回答は統計的に処理しますので、個人、個別団体の情報が漏れることは一切ありません。

#### 記入にあたってご注意いただきたいこと...

アンケート票は、実態や考えに最も近い選択肢を選んでマルをつける質問と、具体的なご意見や数字などをご記入いただく質問があります。自由記入欄はなるべく具体的にご記入ください。答えにくい質問、自分に当てはまらない質問は、回答しなくてもけっこうです。答えられる範囲でご記入ください。

このアンケートは、あなたが参加するNPO団体に対するアンケートと一括して返信する仕組みになっています。ご記入済みのアンケート票は、NPOのご担当者にお渡しください（12/5（金）までの投函締切です）

そのほか、ご記入にあたってご不明の点がありましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

#### 《調査に関する問い合わせ先》

（調査実施主体）

内閣府 男女共同参画局推進課 担当：藤巻、大西

電話：03-3581-2327 FAX：03-3592-0408

（調査委託先）

財団法人 日本システム開発研究所 担当：岩崎・中山

電話：03-5379-5932 FAX：03-5379-5929

電話は土・日・祝日を除く 10:00～17:00

あなたご自身のことについてご記入ください。

<b>居住地</b>	都道府県名	市町村名		
<b>同居の家族</b>	1. 夫	2. 子ども	[ ]人 / 末子年齢 [ ] 歳	
	3. 自分の親	4. 夫の親		
	5. その他の親戚、友人など	6. 同居する家族等はいない		
<b>年齢</b>	1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代
	5. 60代	6. 70代以上		
<b>介護等が必要な家族の有無</b>	あり 【 1. 同居                      2. 同居していない 】			
	なし			

問1 NPOでの活動・就労について教えてください。

(1) 現在のNPOで活動・就労するきっかけとなった情報源について1つ選んで をつけてください。

1. ハローワークでの求人	2. 一般の新聞広告や求人誌
3. NPOの情報媒体（ホームページなど）	4. NPOの講座に参加
5. 自治体等のボランティア情報	6. インターネットのボランティアサイトへの登録
7. 大学（ボランティアセンター等）の募集・紹介	8. 男女共同参画センターでの募集・紹介
9. ボランティア等としての一時的な参加をきっかけに	10. 友人、知人の紹介
11. スタッフ、会員を通じた募集・紹介	12. 地域内のつながりでの募集・紹介
13. その他（具体的に： _____）	

(2) NPOでの活動・就労を選んだ理由について、3つまで選んで をつけてください。

1. 生活や地域など、身近な問題を解決したい	2. 自分の能力や経験、知識を活かしたい
3. 地域との関係を深めたい	4. 仲間や友人の輪を広げたい
5. 新しい知識や経験を得たい	6. 趣味や生きがいを活かしたい
7. 再チャレンジ関係の講座等に参加して触発・支援を受けた	8. 自分が望む働き方をしたい
9. 自分の適性に合っている	10. 報酬・給与条件が合う
11. 雇用形態、身分保障条件が合う	12. 活動・就労の拘束時間が合う
13. 家庭や仕事などと両立できる	14. 他に働く場所がなかった
15. その他（具体的に： _____）	

(3) 現在のNPOでの活動・就労について具体的にご記入ください。

現在のNPOでの活動期間	だいたい [ ] 年 [ ] ヶ月くらい
1週間の活動・就労時間	だいたい [ ] 時間くらい
月平均の報酬・給与額	1. 0～5万円未満      2. 5～10万円未満      3. 10～20万円未満 4. 20～30万円未満      5. 30～50万円未満      6. 50万円以上
NPOでの役割	1. 役員      2. 運営事務局      3. サービス提供スタッフ      4. ボランティア
担当する仕事の内容	[ _____ ]

(4) 現在のNPO以外に、収入を得ている仕事があれば、1つ選んで をつけてください。

1. 正社員、正規職員	2. 嘱託、契約社員	3. 派遣社員
4. パート、アルバイト	5. 会社経営	6. 自営業（農業を含む）
7. その他（ _____）	8. ない	

(5)現在のNPOに参加する以前に、求職活動や再就職をした方にうかがいます。その理由、目的として主なものを2つまで選んで をつけてください。

1. 経済的な理由	2. 時間的なゆとりができた
3. 経験や知識を活かしたい	4. 社会、地域との関わりをもちたい
5. 自分の生きがい、ライフワークがほしい	6. その他(具体的に: )

(6)現在のNPOに参加する以前の職業・社会活動経験等の有無について、該当するものすべてに をつけてください。

1. 正社員としての職業経験あり	2. 正社員ではないが、職業経験あり
3. 地域組織(PTA、自治会など)の経験あり	4. 地域活動の経験あり
5. ボランティア活動の経験あり	6. その他(具体的に: )
7. 職業・社会活動経験はない	

問2 NPOで活動・働くことに対する満足度についてうかがいます。

(1)現在のNPOで活動・働くにあたって、～に対する満足度をそれぞれ1つ選んで をつけてください。

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	該当しない
地域の課題解決					
やりがい					
自分の能力や適性に合っている					
自分の能力、知識等が活かせる					
スキルアップ、キャリアアップできる					
NPOの活動の内容					
NPOでの立場や役割					
家庭や仕事などとの両立					
報酬・給与の水準					
雇用形態、身分保障					
活動・就労の拘束時間、休日					

(2)現在のNPOで活動・働くにあたって、スタッフ間で男女の差があると感じることはありますか。  
～についてそれぞれ1つ選んで をつけてください。

	男性が優遇	差はない	女性が優遇	該当しない
地域の課題解決				
やりがい				
自分の能力や適性に合っている				
自分の能力、知識等が活かせる				
スキルアップ、キャリアアップできる				
NPOの活動の内容				
NPOでの立場や役割				
家庭や仕事などとの両立				
報酬・給与の水準				
雇用形態、身分保障				
活動・就労の拘束時間、休日				

(3)あなたが現在のNPOで活動・働くにあたって役立っている(役立った)経験・能力、資格について該当するものすべてに をつけ、その内容について具体的にご記入ください。

- 1. 職業経験
- 2. 資格
- 3. 地域活動やボランティア経験  
(自治会、PTA、サークル活動等を含む)
- 4. その他の能力  
(自分の趣味が役に立った、性格が役に立ったなど)
- 5. とくにない



《具体的な内容》

問3から問4は、再チャレンジ(結婚、出産・育児、介護等の理由によりいったん離職した後、再就職や地域活動などの社会参画をすること等)経験のある方のみ、ご回答ください

問3 結婚、出産・子育て後の「再チャレンジ」のための準備についてうかがいます。

(1)再チャレンジにあたって、あらためて資格をとったり勉強をしたり、相談したりしましたか。いくつか選んで をつけてください。

- 1. 資格をとった
- 2. 資格をとるための講座に行った
- 3. 専門技能を修得するための講座に行った
- 4. 再就職の心得などを学ぶセミナーに行った
- 5. 働いている知人などの経験を聞いた
- 6. 講座には行かず、自分で勉強した
- 7. 役所などの相談窓口に行った
- 8. その他( )
- 9. とくに何もしていない

(2)再チャレンジのために、あなたが利用した、または利用しているサービスや機関はありますか。いくつか選んで をつけてください。

- 1. ハローワークなどの労働相談
- 2. 男女共同参画センター(女性センター等)の講座・セミナー
- 3. 役所の生涯学習講座やセミナー
- 4. 専修・専門学校や大学の講座など
- 5. NPOの講座やセミナー
- 6. 子育て支援に関する相談窓口
- 7. 再就職支援やスキルアップに関するインターネット情報
- 8. 何もない 【問4へ】
- 9. その他(具体的に: )

(3)(2)で1~7を選んだ方にうかがいます。あなたが(2)で利用したサービスや機関は役に立ちましたか。満足度についてそれぞれ1つ選んで をつけてください。

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	該当しない
ハローワークなどの労働相談					
男女共同参画センター					
役所の講座やセミナー					
専修・専門学校や大学の講座など					
NPOの講座やセミナー					
子育て支援に関する相談窓口					
再チャレンジに関するインターネット情報					

問4 男女共同参画センター等のご利用についてうかがいます。

(1)あなたは、再チャレンジのために男女共同参画センター等を利用したことがありますか。いくつでも選んでをつけてください。

1. 再就職や活動のための講座やセミナー	2. 再就職や社会参画などのキャリアカウンセリング
3. 技術習得などスキルアップの講座や訓練	4. 子育て支援に関する相談
5. 再就職先に関する求人情報、相談	6. NPO団体や活動を探すための情報、相談
7. NPOや会社をおこすための情報、相談	8. NPO活動や事業運営に対する支援
9. 仲間や団体とのネットワークづくり	10. 起業や事業運営のための融資や助成金
11. その他(具体的に: )	12. とくにない

(2)あなたが(1)で利用したサービスは役に立ちましたか。満足度について、それぞれ1つ選んでをつけてください。

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	該当しない
再就職や活動のための講座やセミナー					
再就職や社会参画などのキャリアカウンセリング					
技術習得などスキルアップの講座や訓練					
子育て支援に関する相談					
再就職先に関する求人情報、相談					
NPO団体や活動を探すための情報、相談					
NPOや会社をおこすための情報、相談					
NPO活動や事業運営に対する支援					
仲間や団体とのネットワークづくり					
起業や事業運営のための融資や助成金					

(3)今後、利用してみたいと思う事業やサービスはありますか。2つまで選んでをつけてください。

1. 再就職や活動のための講座やセミナー	2. 再就職や社会参画などのキャリアカウンセリング
3. 技術習得などスキルアップの講座や訓練	4. 子育て支援に関する相談
5. 再就職先に関する求人情報、相談	6. NPO団体や活動を探すための情報、相談
7. NPOや会社をおこすための情報、相談	8. NPO活動や事業運営に対する支援
9. 仲間や団体とのネットワークづくり	10. 起業や事業運営のための融資や助成金
11. その他(具体的に: )	12. とくにない

問5 家庭生活などとNPOの活動・仕事との両立について、うかがいます。

(1)NPOの活動・仕事と家庭生活を両立するために意識していることはありますか。2つまで選んでをつけてください。

1. 家事や子育て、介護を家族と分担する	2. 家事や子育て、介護を今までどおりやる
3. 保育や介護のサービスを利用する	4. 家事支援のサービスを利用する
5. NPOの活動・仕事の時間を短くする	6. NPOや地域に理解者をつくり、協力を得る
7. その他(具体的に: )	
8. とくにない	



(2)あなたがNPOの活動・仕事をするをご家族は応援していますか。それぞれ1つ選んで をつけてください。

	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない
NPOでの活動・仕事内容を評価している			
NPOでの報酬・給与を評価している			
家庭と両立できるよう家事などを協力している			

問6 今後の予定について、うかがいます。

(1)あなたは、今後のNPO活動や就労など、社会参加についてどのように考えていますか。1つ選んで をつけてください。

1. 現在のNPOで活動・仕事をそのまま続ける
2. 現在のNPOの活動を拡大する
3. 希望や条件があう仕事があれば、現在のNPOをやめて転職する
4. 現在のNPO活動は続けるが、働き方(時間、雇用形態など)や関わり方を変える
5. 現在のNPOを経て、新しいNPOや団体をつくる
6. わからない
7. その他(具体的に: )

(1)で3、4、5を選んだ方にうかがいます

(2)転職や働き方を変えたい理由は何ですか?主なものを2つまで選んで をつけてください。

1. もっとやりがいを感じる仕事をしたい
2. 専門知識や技術を活かせる仕事をしたい
3. 地域や社会の役に立つなど、意義のある仕事をしたい
4. もっと自分の意見や考えと一致するところで働きたい
5. もっと自分の能力を評価してくれるところで働きたい
6. NPOで活動・仕事して自信がついたので、本格的に働きたい
7. 報酬・給与の条件がよりよい仕事につきたい
8. 就労時間、拘束時間が少ない仕事につきたい
9. もっと身分が安定している仕事につきたい
10. 家庭生活と両立できる仕事につきたい
11. 今の活動・仕事、職場が合わないと感じる
12. その他(具体的に: )

(3)今後、NPOでの活動や転職等のためにどんな支援やサービスが必要ですか。主なものを3つまで選んで をつけてください。

1. 再就職や活動のための講座やセミナー
2. キャリアカウンセリングなど再就職等の相談
3. 技術習得などスキルアップの講座や訓練
4. 子育てとの両立支援に関する相談
5. 再就職先を探すための情報、相談
6. NPO団体や活動を探すための情報、相談
7. NPOや会社をおこすための情報、相談
8. 仲間や団体とのネットワークづくり
9. NPO活動や事業運営に対する支援
10. 起業や事業運営のための融資や助成金
11. 求職者の経験・能力・資格と再就職先が求める人材とのマッチングを行うサービス
12. その他(具体的に: )
13. とくにない

- ご協力ありがとうございました -

## NPOにおける女性の再チャレンジ支援に関するアンケート調査

平成20年11月

### アンケート調査ご協力をお願い

各 位

内閣府 男女共同参画局

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、男女共同参画政策の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

政府においては、女性の多様な能力を活かせるようさまざまな分野への女性のチャレンジを支援しており、子育て等でいったん就業を中断した女性の再チャレンジなどの総合的な支援に取り組んでおります。

また、男女共同参画会議基本問題専門調査会でとりまとめられた『地域における男女共同参画の今後のあり方』にあるとおり、NPOは地域における男女共同参画の推進にとってますます重要な役割を果たすことが期待されています。このなかで、女性の再チャレンジのひとつとして、NPOで働くこと、あるいはNPOを自ら立ち上げる事例も見られます。

こうした現状をふまえ、このたび内閣府男女共同参画局では、NPOにおける女性の再チャレンジの実態、ならびに再チャレンジ支援を含めた男女共同参画センター等とNPOとの連携・協働の実態などを把握するため、アンケート調査を実施することと致しました。

お手数をおかけしますが、下記の実施要領をご一読いただき、以下のアンケート調査にご協力くださいますようお願い致します。

敬具

#### 【実施要領】

アンケート票は、実態や考えに最も近い選択肢を選んでマルをつける質問と、具体的なご意見や数字などをご記入いただく質問があります。自由記入欄はなるべく具体的にご記入ください。

回答しにくい質問、該当しない質問などは、回答しなくても構いません。お答えになれる範囲でご記入ください。

ご記入済みのアンケート票は、同封の返信用封筒に入れて、**12/3(水)まで**に投函してください(切手を貼る必要はありません)。

そのほか、ご記入にあたってご不明の点がありましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

#### 〈調査に関する問い合わせ先〉

(調査実施主体)

内閣府 男女共同参画局推進課 担当：藤巻、大西

電 話：03-3581-2327 F A X：03-3592-0408

(調査委託先)

財団法人 日本システム開発研究所 担当：岩崎・中山

電 話：03-5379-5932 F A X：03-5379-5929

電話は土・日・祝日を除く 10:00～17:00

貴施設の基本情報について、ご記入ください。

<b>施設名</b>			
<b>ご連絡先</b>	電話	F A X	メール
<b>ご記入者</b>	お名前 役職		
<b>設置 及び運営</b>	1．公設公営（行政直営） 2．公設民営 3．民設民営	運営主体名：  組織形態：N P O / 社会福祉協議会 / 財団法人 / その他	
<b>指定管理</b>	男女共同参画センター事業運営の指定管理制度の導入	あり	なし
<b>職員数</b>	常勤職員数	[       ]	人
	再チャレンジ（再就職、キャリアカウンセリング等）担当者	[       ]	人
<b>主な 実施事業</b>	1．広報啓発 4．情報収集・提供 7．企業・N P Oとの連携・働きかけ 9．調査研究	2．講座 5．苦情処理	3．相談事業 6．交流促進 8．国際交流・海外派遣事業 10．その他（具体的に： )

**問1 貴施設の施策、事業についてうかがいます。**

貴法人では、N P O向け事業・施策の実施、または事業の企画運営でN P Oと連携・協働した実績はありますか。いくつでも選んで をつけ、とくに女性の再チャレンジに関わる取り組みは をつけてください。

1．社会参画等に関する意識啓発の講座	2．再就職や社会参画などのキャリアカウンセリング
3．能力開発、スキルアップなど人材育成の講座	4．人材の募集・紹介（マッチング）
5．起業支援	6．情報提供
7．他団体や仲間との交流、ネットワークづくり	8．N P Oに関する運営支援
9．起業や事業運営のための融資や助成事業	10．上記の「1」、「3」以外の講座
11．イベントの実施	12．その他（具体的に： )

**問2 地域における男女共同参画の推進についてうかがいます。**

貴施設がある地域、ならびに施設利用者の居住地を想定してお答えください。

(1)地域のさまざまな場の意思決定における男女共同参画の傾向を、 ~ についてそれぞれ1つ選んで をつけてください。

	女性が優位	女性がやや優位	ほぼ平等	やや男性が優位	男性が優位
町内会などの地縁団体					
商工会やJ Aなどの経済団体					
議会など政治参加					
P T A活動					
N P Oなどの地域活動					
起業					

(2)女性の参画がここ数年で顕著になっている(人数、活動領域、発言など)地域内の活動があれば、いくつかでも選んでつけてください。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 町内会などの地縁団体 | 2. 商工会やJAなどの経済団体 |
| 3. 議会など政治参加   | 4. PTA活動         |
| 5. NPOなどの地域活動 | 6. 起業            |
| 7. その他(具体的に:  | )                |

(3)NPOなど地域活動への女性の参画は、どのような点で効果を発揮していると感じますか。女性の参画に期待することと実際に得られた成果について、2つまで選んで下欄に番号をご記入ください。

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 女性自身の意欲や能力が高まる        | 2. 女性の経験や能力が発揮される     |
| 3. 女性の経済的自立を促す           | 4. 活躍する女性人材、リーダーが増える  |
| 5. 女性のロールモデルができる         | 6. 女性に対する評価が高まる       |
| 7. 女性と地域社会とのつながりができる     | 8. 地域課題の解決に役立つ        |
| 9. 地域づくりに多様な視点や感性が反映される  | 10. 男女が対等に発言・活動しやすくなる |
| 11. 地域コミュニティが活性化する       | 12. 地域経済が活性化する        |
| 13. 男女共同参画の考え方に対する理解ができる | 14. その他(具体的に:         |
| 15. とくにない                | )                     |

↑	↑
<b>女性の地域参画に期待すること</b>	<b>実際に得られた成果</b>

(4)NPOにおける女性の再チャレンジを推進するうえで、どのような問題がありますか。2つまで選んでつけてください。

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| 1. 女性は実行部隊または補助的な役割で、意思決定やリーダーシップは男性が握っている | 3. 活動・就労時間の問題等で家庭と活動の両立が難しい          |
| 2. 女性の意欲や能力を高める場になっていない                    | 4. 給与・報酬水準が低い                        |
| 5. 身分保障が不安定                                | 6. NPO活動は“ボランティア”“余暇”という意識がある        |
| 7. 仕事との両立が難しい                              | 8. 家族の理解を得にくい                        |
| 9. 古いしがらみ等で、女性が目立つと望ましくないという意識がある          | 10. 豊かな経験や能力を持つ女性が、その力を十分に発揮する機会が少ない |
| 11. NPOに参加したくても、参加できる機会が少ない                | 12. 他の団体とのネットワークづくりが難しい              |
| 13. その他(具体的に:                              | )                                    |
| 14. とくにない                                  |                                      |

(5)NPOにおける女性の再チャレンジを支援・促進するために、貴施設ではNPO等に対する支援策を独自に行っていますか。主要なものを2つまで選んでつけてください。

- |  |
|--|
| 1. NPOや地域コミュニティへの参加を促す趣旨の講座を行っている              |
| 2. NPOが必要とする専門知識や技術を習得する講座を行っている               |
| 3. ボランティアを求める団体とボランティアをしたい女性のマッチングをしている        |
| 4. 講座等を修了した女性などを、NPOでの活動・就労につなげるコーディネートをしている   |
| 5. NPOや地域コミュニティに関わるネットワークづくりを支援している            |
| 6. 地域内のNPOと情報交換する場を設け、支援策やネットワークのあり方を検討している    |
| 7. 女性の再チャレンジや男女共同参画を対象とする、NPOも利用できる助成事業や支援策がある |
| 8. NPOでの女性の再チャレンジに関する事例情報を発信している               |
| 9. その他(具体的に:                                   |
| )  |
| 10. とくにない                                      |

(6) NPOにおける女性の再チャレンジを推進するための課題として、どのようなことが考えられますか。  
2つまで選んで をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 再チャレンジの場として、NPOの組織体制の整備・充実を支援する<br>2. NPOが必要とする技能、専門知識等をもった人材の育成を充実する<br>3. NPOの人材ニーズに対応した講座・研修等を充実する<br>4. 地域や家庭における男女の役割意識の改善に取り組む<br>5. 地域全体でNPOや地域活動への参加機会を充実し、女性が再チャレンジしやすい環境づくりをする<br>6. 地域の女性に対して、再チャレンジを呼びかけるセミナーや情報発信を行う<br>7. NPOに参画・挑戦するインターンシップ等の事業を地域のNPO全体で推進する<br>8. 再チャレンジしたい女性と、人材を求めるNPOの双方のマッチングを地域で行う<br>9. その他（具体的に： _____ ) |
|--|

(7) 女性の再チャレンジのひとつとしてNPO等の地域コミュニティでの活動を支援・促進するための、貴施設の独自の事業や取り組みがあれば、具体的にご紹介ください。

--

(8) 貴施設がネットワークをもつ団体等の中で、女性の再チャレンジ支援に積極的なNPOや取り組み事例がありましたら、団体名や主な活動内容について具体的にご紹介ください（ アンケート実施後に、事例検証のためのヒアリング候補とさせていただきます ）。

--

問3 NPOや中間支援組織（NPOや地域活動を支援する団体）と、貴施設との連携・協働についてうかがいます。

(1) 貴法人では以下の ~ のような支援策を実施していますか、また、NPO等の非営利な活動団体ならびに中間支援組織と連携協働した取り組みはありますか。 ~ から選んで をつけ、とくに女性の再チャレンジに関わる取り組みは をつけてください。

	支援策の有無	NPOと連携協働	中間支援組織と連携協働
社会参画等に関する意識啓発	有り なし		
再就職や社会参画などのキャリアカウンセリング	有り なし		
能力開発、スキルアップなど人材育成	有り なし		
人材の募集・紹介（マッチング）	有り なし		
起業支援	有り なし		
情報提供	有り なし		
他団体や仲間との交流、ネットワークづくり	有り なし		
NPOに関する運営支援	有り なし		
起業や事業運営のための融資や助成事業	有り なし		
上記の、以外の講座	有り なし		
イベントの実施	有り なし		
その他（具体的に： _____ )	有り なし		

(2) NPOや中間支援組織との連携協働に期待すること、実際に得られた成果について、それぞれ2つまで選んで下欄に番号をご記入ください。

- |                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 「男女共同参画」に対する理解         | 2. 「女性の再チャレンジ」に対する理解      |
| 3. 地域コミュニティ活動への女性の参画、活躍   | 4. 地域の女性人材の育成、スキルアップ機会の充実 |
| 5. 地域内の連携、ネットワークの拡がり      | 6. 新たな連携協働の機会             |
| 7. 地域づくりに関わる予算の確保・充実      | 8. 経験や能力のある人材の紹介やマッチング    |
| 9. 地域づくりや人材育成に関わる人員の確保・充実 | 10. 専門的なノウハウの確保・充実        |
| 11. その他（具体的に： _____）      |                           |
| 12. とくにない                 |                           |

<b>連携協働に期待すること</b>			<b>実際に得られた成果</b>		
--------------------	--	--	------------------	--	--

(3) 貴施設では、地域における男女共同参画、女性の地域コミュニティ参画を促す取り組みとして、地域内のNPOや地域リーダー、諸団体等とのネットワークづくりに取り組んでいますか。1つ選んでつけ、「1」を選んだ方はネットワークの目的や活動内容等について下欄に具体的にご記入ください。

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 地域とのネットワークづくりに取り組んでいる        |
| 2. 地域とのネットワークづくりに取り組む意向がある      |
| 3. 地域とのネットワークづくりに取り組みたいが、困難と感じる |
| 4. とくに取り組んでおらず、取り組む意向がない        |

《ネットワークの目的、構成》
《具体的なネットワークでの活動や事業》

(4) 地域内のNPOや団体等との協働連携にあたって問題と感じる点があれば、2つまで選んでつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 「男女共同参画」の視点の呼びかけでは、地域内のNPOや団体等の理解・参画が得にくい          |
| 2. 「再チャレンジ」の視点の呼びかけでは、地域内のNPOや団体等の理解・参画が得にくい          |
| 3. 地域内のNPOや団体が参加するネットワークがあるが、運営の趣旨が男女共同参画と異なるので連携しにくい |
| 4. 地域内にすでにネットワークがあり、新たなネットワークを構築する余地がない               |
| 5. 連携やネットワークづくりのきっかけがない                               |
| 6. ネットワークや人的なつながりを維持するための場の設定・運営が負担になる                |
| 7. 当施設（または運営団体）の予算が不足している                             |
| 8. 当施設（または運営団体）の専門職員、人員が不足している                        |
| 9. その他（具体的に： _____）                                   |

(5) 貴施設では、地域のNPO等との交流やネットワークがありますか。それぞれの取り組み状況についてつけてください。

	よくある	たまにある	ない
広報誌やインターネットなどの情報の利用			
相談窓口等の利用			
職員との日常的な交流			
情報交換等の会合の参加			
情報交換等の会合メンバー			
共同での事業実施（名目でなく実質的に協働したもの）			
施設、設備の利用			
その他（具体的に： _____）			

(6) N P O や中間支援組織と貴施設との間の交流やネットワークについて、具体的にご記入ください。

《交流の具体的な内容、目的》
《交流やネットワークに参加する他の団体など》
《情報交換、共有する機会（会合や会報など）》
《交流にもとづく事業実施や効果など》
《交流やネットワークの名称、主催・事務局（ネットワークの中心的な役割）など》

#### 問4 地域における男女共同参画の推進についてうかがいます。

男女共同参画会議基本問題専門調査会でとりまとめられた『地域における男女共同参画の今後のあり方』では、「今後、地域における男女共同参画を推進していくためには、・・・多様な主体が実践的活動を主体的に展開し、それによって、男女共同参画を実現していくという課題解決型の実践的活動を中心とするものへと移行することが求められる。」との方針を示しています。こうした考え方について、貴施設の地域実態に即してどのように評価できますか。 ～ について、それぞれ1つ選んで をつけてください。

	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない
地域の実態に合っている			
一般市民の理解・参加が得やすい			
活動する女性の支援につながっている			
女性人材の発掘・育成が行いやすい			
地域で活動する女性が増えている			

問5 調査の一環として、このアンケート結果をふまえたヒアリング調査をさせていただく場合があります。ご協力の可否を教えてください(調査員が貴施設を訪問、1時間程度のインタビューをします)。

1. ヒアリングに協力できる	2. ヒアリングに協力できない
----------------	-----------------

ご協力ありがとうございました -

**NPO等地域コミュニティにおける女性の再チャレンジ支援に関するアンケート調査**

平成20年11月

**アンケート調査ご協力をお願い**

各 位

内閣府 男女共同参画局

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、男女共同参画政策の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

政府においては、女性の多様な能力を活かせるようさまざまな分野への女性のチャレンジを支援しており、子育て等でいったん就業を中断した女性の再チャレンジなどの総合的な支援に取り組んでおります。

また、男女共同参画会議基本問題専門調査会でとりまとめられた『地域における男女共同参画の今後のあり方』にあるとおり、NPOは地域における男女共同参画の推進にとってますます重要な役割を果たすことが期待されています。このなかで、女性の再チャレンジのひとつとして、NPOで働くこと、あるいはNPOを自ら立ち上げる事例も見られます。

こうした現状をふまえ、このたび内閣府男女共同参画局では、NPOにおける女性の再チャレンジの実態、ならびに再チャレンジ支援を含めた男女共同参画センター等とNPOとの連携・協働の実態などを把握するため、アンケート調査を実施することと致しました。

お手数をおかけしますが、下記の実施要領をご一読いただき、以下のアンケート調査にご協力くださいますようお願い致します。

敬具

**【実施要領】**

アンケート票は、実態や考えに最も近い選択肢を選んでマルをつける質問と、具体的なご意見や数字などをご記入いただく質問があります。自由記入欄はなるべく具体的にご記入ください。

回答しにくい質問、該当しない質問などは、回答しなくてもけっこうです。お答えになれる範囲でご記入ください。

ご記入済みのアンケート票は、同封の返信用封筒に入れて、**12/3(水)まで**に投函してください(切手を貼る必要はありません)。

そのほか、ご記入にあたってご不明の点がありましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

**《調査に関する問い合わせ先》**

(調査実施主体)

内閣府 男女共同参画局推進課 担当：藤巻、大西

電 話：03-3581-2327 F A X：03-3592-0408

(調査委託先)

財団法人 日本システム開発研究所 担当：岩崎・中山

電 話：03-5379-5932 F A X：03-5379-5929

電話は土・日・祝日を除く 10:00～17:00



**貴団体の基本情報について、ご記入ください。**

<b>団体名</b>	組織形態： N P O / 社会福祉協議会 / 財団法人/行政		
<b>連絡先</b>	電話	F A X	メール
<b>ご記入者</b>	お名前		役職等
<b>職員数</b>	常勤職員数		[      ]人
<b>実施事業 (すべて)</b>	1. 施設、設備等の提供 3. 資金調達・運用支援 5. 情報発信支援 7. 人材募集・確保支援 9. 政策研究・提言 11. 意識啓発 13. その他(具体的に：	2. 組織及び事業運営支援 4. 情報提供 6. 人材の育成、教育研修 8. 調査研究 10. ネットワークづくり 12. 各種相談	)

**問1 就労・起業支援に関する施策、事業等についてうかがいます。**

貴団体では、以下の施策、事業等を行っていますか(他機関との協働、共催事業を含む)。また、とくに「女性の再チャレンジ(社会参画)」「NPO参加」を対象とする事業はありますか。該当するものにつけ、具体的な事業内容を下の空欄に簡略にご記入ください。

	事業実施	女性の再チャレンジ に関する事業	NPO参加、NPO おこしに関する事業
就労に関する意識啓発、情報発信	あり    なし		
各種の能力開発、スキルアップ、人材育成	あり    なし		
就労支援	あり    なし		
地域活動、ボランティアのマッチング	あり    なし		
起業支援	あり    なし		

《具体的な事業内容》

問2 男女共同参画センター（女性センター等）との連携協働の現状についてうかがいます。

(1)貴団体では、これまでに男女共同参画センター等の事業・施策の利用、または事業の企画運営でセンターと連携・協働した実績はありますか。 ～ からいくつでも選んで をつけ、とくに女性の再チャレンジに関わる取り組みは をつけてください。

	施策事業の利用	事業の連携協働
社会参画等に関する意識啓発の講座		
再就職や社会参画などのキャリアカウンセリング		
能力開発、スキルアップなど人材育成の講座		
人材の募集・紹介（マッチング）		
起業支援		
情報提供		
他団体や仲間との交流、ネットワークづくり		
NPOに関する運営支援		
起業や事業運営のための融資や助成事業		
上記の 、 以外の講座		
イベントの実施		
その他（具体的に： _____）		

(2)(1)で選んだ事業の利用に対する評価について、それぞれ1つ選んで をつけてください。

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	該当しない
社会参画等に関する意識啓発の講座					
再就職や社会参画などのキャリアカウンセリング					
能力開発、スキルアップなど人材育成の講座					
就職先等の募集・紹介（マッチング）					
起業支援					
情報提供					
他団体や仲間との交流、ネットワークづくり					
NPOに関する運営支援					
起業や事業運営のための融資や助成事業					
上記の 、 以外の講座					
イベントの実施					

(3)男女共同参画センター等との連携協働に期待すること、実際に得られた成果について、それぞれ2つまで選んで下欄に番号をご記入ください。

1. 「男女共同参画」に対する理解	2. 「女性の再チャレンジ」に対する理解
3. 地域コミュニティ活動への女性の参画、活躍	4. 地域の女性人材の育成、スキルアップ機会の充実
5. 地域内の連携、ネットワークの拡がり	6. 新たな連携協働の機会
7. 地域づくりに関わる予算の確保・充実	8. 経験や能力のある人材の紹介やマッチング
9. 地域づくりや人材育成に関わる人員の確保・充実	10. 専門的なノウハウの確保・充実
11. その他（具体的に： _____）	
12. とくにない	

連携協働に期待すること	実際に得られた成果

(4)貴団体では、男女共同参画センター等との交流やネットワークがありますか。それぞれの取り組み状況について1つ選んで をつけてください。

	よくある	たまにある	ない
広報誌やインターネットなどの情報の利用			
相談窓口等の利用			
職員との日常的な交流			
情報交換等の会合の参加			
情報交換等の会合メンバー			
共同での事業実施（名目でなく実質的に協働したもの）			
施設、設備の利用			
その他（具体的に： _____）			

(5)貴団体では、男女共同参画センター等と連携して事業を実施した実績がありますか。実績があるテーマ、具体的な事業内容についていくつでも をつけてください。

テーマ	内容	事業実績	講座、 セミナー	情報 提供	相談 アドバイス	助成 事業	交流、 マッチング
女性の再チャレンジ（就労・起業を含む）		有 無					
男女共同参画		有 無					
地域づくり、地域活性化		有 無					
ボランティア		有 無					
その他テーマ （具体的に： _____）		有 無					

(6)貴団体と男女共同参画センター等の間で、交流や人的なつながりなど、情報を共有する交流やネットワークがあれば、具体的にご記入ください。

《交流の具体的な内容、目的》
《交流やネットワークに参加する他の団体など》
《情報交換、共有する機会（会合や会報など）》
《交流にもとづく事業実施や効果など》
《交流やネットワークの名称、主催・事務局（ネットワークの中心的な役割）など》

問3 地域における男女共同参画の推進についてうかがいます。

(1)地域のさまざまな場での意思決定における男女共同参画の傾向を、～ について、それぞれ1つ選んでつけてください。

	女性が優位	女性がやや優位	ほぼ平等	やや男性が優位	男性が優位
町内会などの地縁団体					
商工会やJAなどの経済団体					
議会など政治参加					
P T A活動					
N P Oなどの地域活動					
起業					

(2)地域内の活動に対する女性の参画がここ数年で顕著になっている(人数、活動領域、発言など)ものがあるれば、いくつでも選んでつけてください。

1. 町内会などの地縁団体	2. 商工会やJAなどの経済団体
3. 議会など政治参加	4. P T A活動
5. N P Oなどの地域活動	6. 起業
7. その他(具体的に: )	8. とくにない

(3)N P Oなど地域活動への女性の参画は、どのような点で効果を発揮していると感じますか。女性の参画に期待することと、実際に得られた成果について、2つまで選んで下欄に番号をご記入ください。

1. 女性自身の意欲や能力が高まる	2. 女性の経験や能力が発揮される
3. 女性の経済的自立を促す	4. 活躍する女性人材、リーダーが増える
5. 女性のロールモデルができる	6. 女性に対する評価が高まる
7. 女性と地域社会とのつながりができる	8. 地域課題の解決に役立つ
9. 地域づくりに多様な視点や感性が反映される	10. 男女が対等に発言・活動しやすくなる
11. 地域コミュニティが活性化する	12. 地域経済が活性化する
13. 男女共同参画の考え方に対する理解ができる	14. その他(具体的に: )
15. とくにない	

女性の地域参画に期待すること	実際に得られた成果
----------------	-----------

(4)N P Oにおける女性の再チャレンジを推進するうえで、どのような問題がありますか。2つまで選んでつけてください。

1. 女性は実行部隊または補助的な役割で、意思決定やリーダーシップは男性が握っている
2. 女性の意欲や能力を高める場になっていない
3. 活動・就労時間の問題等で家庭と活動の両立が難しい
4. 給与・報酬水準が低い
5. 身分保障が不安定
6. N P O活動は“ボランティア”“余暇”という意識がある
7. 仕事との両立が難しい
8. 家族の理解を得にくい
9. 古いしがらみ等で、女性が目立つと望ましくないという意識がある
10. 豊かな経験や能力を持つ女性が、その力を十分に発揮する機会が少ない
11. N P Oに参加したくても、参加できる機会が少ない
12. 他の団体とのネットワークづくりが難しい
13. その他(具体的に: )
14. とくにない

(5) NPOにおける女性の再チャレンジを推進するための課題として、どのようなことが考えられますか。  
2つまで選んで をつけてください。

1. 再チャレンジの場として、NPOの組織体制の整備・充実を支援する
2. NPOが必要とする技能、専門知識等をもった人材の育成を充実する
3. NPOの人材ニーズに対応した講座・研修等を充実する
4. 地域や家庭における男女の役割意識の改善に取り組む
5. 地域全体でNPOや地域活動への参加機会を充実し、女性が再チャレンジしやすい環境づくりをする
6. 地域の女性に対して、再チャレンジを呼びかけるセミナーや情報発信を行う
7. NPOに参画・挑戦するインターンシップ等の事業を地域のNPO全体で推進する
8. 再チャレンジしたい女性と、人材を求めるNPOの双方のマッチングを地域で行う
9. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

(6) NPOや地域コミュニティ活動に対する女性の参画について、貴団体の意向を1つ選んで をつけてください。

1. 男女共同参画センター等と連携し、積極的に支援・促進したい
2. 既存事業の枠内で支援・促進したい
3. 女性の地域参画を支援・促進する意向はない

(7) 貴団体とネットワークがある団体等の中で、女性の再チャレンジ支援に積極的なNPOや取り組み事例がありましたら、団体名や連絡先などを具体的にご記入ください(調査の一環として、ヒアリング対象の候補とさせていただきます)。

問4 調査の一環として、このアンケート結果をふまえたヒアリング調査をさせていただく場合があります。ご協力の可否を教えてください(調査員が貴団体を訪問、1時間程度のインタビューをします)。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. ヒアリングに協力できる | 2. ヒアリングに協力できない |
|----------------|-----------------|

**ご協力ありがとうございました**